

第4章 分野別の方針と施策

1. 農業

〔基本方針〕

経営体の収益力向上と持続的な農業経営基盤の構築

(1) 農業経営の安定的な継続と支援

個別施策	説明
① 多様な担い手の確保と育成	<ul style="list-style-type: none"> ・農業の維持・発展を図るため、産業としての農業を担う経営体をはじめ、新規就農者、農業法人、民間企業、各団体等の担い手を幅広く確保し、育成に努めます。 ・農業参入を考えている教育・福祉事業者や民間企業に対し、相談・情報提供等を通じて農業参入への支援を行います。 ・農地の貸し手と借り手のマッチングを農業委員会等との連携により支援します。 <p>【関係機関：市（経済課）、農業委員会、県、JA】</p>
② 経営体の収益力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・営農の維持・拡大を促進するため、農業・農地に関する支援制度の周知を図り、その活用を支援します。 ・農業機械、生産施設等の導入について、補助金の周知や活用について支援します。 ・自身の農産物の販路拡大、販売促進活動等を行い、農業所得の向上を目指す取組に対し支援します。 ・農畜産物の付加価値を高めるため、生産・加工・販売を一体化した6次産業化を目指す経営体等を支援します。 <p>【関係機関：市（経済課）、国、県、JA、酪農協会】</p>

(2) 耕作放棄地の活用と農業基盤の維持向上

個別施策	説明
① 耕作放棄地の活用と農業の多面的機能の増進	<ul style="list-style-type: none"> ・耕作放棄地等を多様な担い手のもとに集積・集約を促進し、生産性の高い農地としての活用を図ります。 ・環境保全、景観形成、地域社会・文化の継承等、農業が有する便益・機能の増進を図ります。 ・営農を通じて行われる地域活動の取組を支援します。 <p>【関係機関：市（経済課）、農業委員会、JA、農地中間管理機構、多面的機能支払交付金活動組織】</p>
② 農業用水の安定確保と農業基盤の維持向上	<ul style="list-style-type: none"> ・農業水利施設は農業の基盤施設であり、地域への配水も担っていることから、関係機関と連携し、老朽化した水利施設の修繕や用水路、排水機場の整備・更新を推進します。 <p>【関係機関：市（経済課）、県、愛知用水、地域水利組合、地域農業者】</p>

(3) 農業に親しむ機会の充実

個別施策	説明
① 地元農産物の利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・「知多牛」をはじめとする地元農産物の質の高さを市内外にPRするとともに、消費拡大につながる情報を発信し、地元住民に対する環境への配慮とともに、地産地消を推進します。 ・小中学校の給食に地元産・愛知県産の農産物を積極的に活用し、食材に対する理解促進を図ります。 <p>【関係機関：市（経済課・学校給食センター）、JA、県、酪農協会、農業生産組合】</p>
② 農業体験に関する環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校における稲作体験、こども園・保育園における芋苗植え・芋掘り体験等を通じて、食育を推進し、農産物の地産地消につなげます。 <p>【関係機関：市（経済課・学校教育課・幼児保育課）、農業委員会、JA、農業生産組合】</p>



【目標値】

基本成果指標	現状値	目標値（令和13年度）
半田市農業産出額 ※農林業センサス結果等を活用した推計	76.9 億円 (令和元年度)	87.2 億円
担い手への農地集積面積（累計） ～耕作放棄地解消・抑制面積～ ※半田市経済課調査	10.5ha (令和2年度)	64ha
認定新規就農者数（累計） ※半田市経済課調査	8人 (令和2年度)	30人

2. 商業

〔基本方針〕

経営環境の向上と地域商業の賑わい創出

(1) 経営の安定化とチャレンジへのサポート強化

個別施策	説明
① 経済の回復と経営環境の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により打撃を受けた市内経済の立て直しと、ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた地域内における経済循環の促進や既存事業者の事業承継の支援、販路の拡大や業種転換などの新たな事業展開へのチャレンジを支援します。 ・キャッシュレス化やネット販売の普及など、社会やライフスタイルの変化に柔軟に対応できるよう、時代に即した支援や啓発を行います。また、支援制度の利用促進や必要な情報を届けられるよう、情報発信の仕組みを確立します。 <p>【関係機関：市（経済課）、商工会議所、商業者、金融機関】</p>
② 創業支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会議所や金融機関と連携した融資制度や創業者を支援する補助金の活用、創業相談やチャレンジショップなどによるサポート体制の強化を図り、創業や起業にチャレンジしやすい環境づくりを進めます。 <p>【関係機関：市（経済課）、商工会議所、金融機関】</p>

(2) 持続可能な商業振興

個別施策	説明
① 地域に密着した個店づくりと商店街の活性化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街が単なる買い物の場にとどまらず、楽しみと笑顔が集まる地域住民の交流の場となるよう、市民生活に密着した個店づくりを進めます。また、公園や道路等の公共施設用地の有効活用や文化芸術との連携を図りながら、商店街の活性化を推進します。 <p>【関係機関：市（経済課・都市計画課・市街地整備課・土木課・生涯学習課）、商工会議所、商業者】</p>



(3) 人が集まる魅力ある中心市街地の形成

個別施策	説明
① 魅力ある中心市街地の形成	<p>・名鉄知多半田駅・J R 半田駅周辺から半田運河・半田市役所周辺における中心市街地について、歴史・文化に根差した半田らしい地域資源が残るまちなみと多様なニーズに応えられる快適さが融合した魅力あるエリアとするため、商工会議所や地域事業者などとの協働を進め、空き家・空き店舗や J R 半田駅の高架下等を活用した戦略的な商業集積を図ります。</p> <p>・歩いて一日過ごせる「ウォーカブル」なエリアを形成するため、公共施設用地等を活用した市民や事業者による自発的な経済活動を支援します。</p> <p>【関係機関：市（経済課・観光課・市街地整備課・都市計画課・建築課）、商工会議所、中心市街地の商店街等、クラシティ】</p>



【目標値】

基本成果指標	現状値	目標値（令和 13 年度）
卸売業・小売業年間販売額	2,950.5 億円 (平成 28 年)	2,961 億円
名鉄知多半田駅～半田運河周辺の 流動人口※ 【10 時～17 時の平均値】	【平日】6,974 人（令和 2 年） 7,157 人（令和元年）	9,000 人
	【休日】6,796 人（令和 2 年） 7,181 人（令和元年）	10,000 人
商店街新規加入店舗数（累計）	2 店舗 (令和 2 年)	50 店舗

※流動人口…ある地点に滞留している人の合計値を 500mメッシュ単位で把握したもの。株式会社ゼンリンデータコム「混雑統計」によるもので、「混雑統計」データは N T T ドコモが提供するアプリケーションの利用者から、承諾を得た上で送信される携帯電話の位置情報を相対的かつ統計的に加工を行ったデータ。

3. 工業

〔基本方針〕

地域経済を牽引する産業集積の形成と活性化

(1) 新たな企業用地の確保に向けた取組

個別施策	説明
① 内陸部での工業団地の造成	<ul style="list-style-type: none"> ・次世代につながる産業分野や環境負荷軽減を講じる企業などの誘致・既存企業の事業拡大により、税金の増加及び新たな雇用創出による定住人口の増加を図るため、企業のニーズが高い内陸部において工業団地の造成を推進します。 <p>【関係機関：市（経済課）、商工会議所、県、企業】</p>
② 臨海部での工業用地の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・臨海部の工業専用地域では低・未利用地がなく、新たな企業誘致や既存企業の事業拡大を図ることができないことから、工業専用地域の後背地の活用を推進します。 ・「ふ頭用地」「都市機能用地」などについて、工業用地等への変更に向けた協議を管理者と進めます。 <p>【関係機関：市（経済課・都市計画課）、商工会議所、県、国、企業】</p>

(2) 企業の成長に向けた支援・活動

個別施策	説明
① 事業拡大に向けた企業支援	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな企業誘致、既存企業の事業拡大の一助となるよう、高度先端産業立地奨励金（中小企業高度先端産業立地奨励金）、半田市企業再投資促進補助金のほか、新たな補助金などの制度設計を行い、本市への企業誘致を誘発させます。 ・工業用地の利活用のワンストップ窓口として、企業をはじめとした土地所有者の同意のもと情報を集約し、工業用地に関する情報を提供します。 <p>【関係機関：市（経済課）、県、企業】</p>
② 産業活動の環境改善	<ul style="list-style-type: none"> ・臨海部の工業団地周辺では、特に出勤時に渋滞が生じ、沿道企業や通過交通に悪影響を与えているため、企業と協働で取組を進め、渋滞解消を図ります。 ・西三河工業用水道は、契約水量（需要）が浄水場能力（供給）に迫る状況から、今後は工業用水道を利用している企業が当該地から移転しない限り、新たな契約ができません。そこで、工業用水道の安定的な供給、上水道の利用促進に向け関係機関と協議を進めていきます。 <p>【関係機関：市（経済課）、県、企業】</p>

(3) 就業・就労環境の整備*

個別施策	説明
① 安定した雇用の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会議所等関係機関と連携して合同企業説明会を開催し、市内に立地する工業、農業、商業、サービス業等の多様な企業の魅力を発信するとともに地元企業と求職者のマッチングを図ります。また、若者サポートステーションによる、ノートやフリーターなども含む若者のキャリア形成を支援します。 ・企業誘致により雇用創出を図るとともに職業訓練により高い技術を持った労働者を育成し、地元企業が多様な優れた人材を獲得できる機会を支援します。 【関係機関：市（経済課）、商工会議所、商業者、工業者、NPO】
② 働きやすい環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・市内に立地する多くの企業を対象にワーク・ライフ・バランスや育児・介護休業制度等の労働環境の改善に関する啓発を実施します。また、勤労団体への支援を通じて労働者の福祉増進を行い、労働市場の安定を図ります。 ・市内企業に会社訪問をする場合、国や県などの働き方に関する最新の情報・リーフレットなどを情報提供することで、就業・就労に関する企業と従業員との間で生じるトラブルを未然に予防できるよう啓発をしていきます。 【関係機関：市（経済課）、商工会議所、県、国、勤労団体、商業者、工業者】

※他分野にも共通



自動ロボットによる塗装作業【提供】㈱イクヨ



【目標値】

基本成果指標	現状値（令和3年度）	目標値（令和13年度）
企業立地件数（累計）	13件	26件
製造品出荷額（工業統計調査）	8,429.9億円 （令和元年度実績）	8,800億円
完全失業率	3.59% （平成27年国勢調査）	2.4%

4. 観光

〔基本方針〕

半田ならではの魅力を活かした観光振興による
地域活性化とまちへの愛着と誇りの醸成

(1) 半田ならではの魅力を活かした観光振興

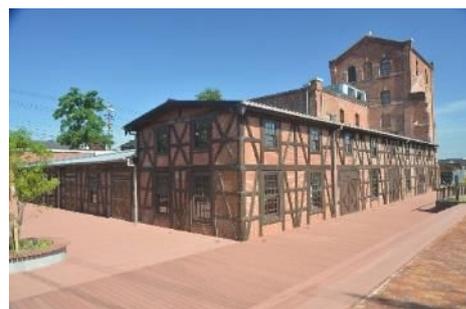
個別施策	説明
① 観光資源の磨き上げ・発掘とブランド形成	<ul style="list-style-type: none"> ・「山車・蔵・南吉・赤レンガ」をはじめとする、本市ならではの観光資源をニーズやターゲットを踏まえて磨き上げ、高付加価値化するとともに、新たな資源の発掘や深掘りを行い、ひいては地域ブランドの形成を図ります。 ・歴史・文化（海運・醸造の歴史、旧中荏半六邸等の豪商邸宅、山車祭り、半田赤レンガ建物、カブトビール、武豊線、南吉文学）等のストーリーやテーマにより、点在する観光資源をつなげ、面的な広がりのある観光を推進します。これにより、本市全体の観光魅力の向上を図り、誘客（リピーターの増加、ファン化）や回遊性の向上、消費促進につなげます。 ・醸造業をはじめとした特色のある産業を、観光資源として活用し、産業観光等の推進につなげます。 ・半田運動公園等の公園や半田空の科学館の魅力を活かし、家族連れ等の誘客を図ります。 <p>【関係機関：市（観光課・経済課・都市計画課・スポーツ課・生涯学習課・博物館・新美南吉記念館）、観光協会、商工会議所、市民活動団体、事業者、指定管理者】</p>
② 効果的なプロモーションの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルやメディア、今後の技術革新による新たな手法を活用し、ターゲットの属性や趣味・趣向を踏まえた、効果的なプロモーションによる本市の観光魅力の発信及び誘客を図ります。また、デジタルを活用したプロモーションにおいて、的確な効果測定を行い、ニーズを把握することにより、次のプロモーションにつなげます。 ・愛知・名古屋観光誘客協議会等との連携により、本市の観光魅力を全国にPRします。 ・愛知県や鉄道事業者等と連携した広域的なプロモーションにより、リニア中央新幹線の開業も見据えた誘客を図ります。 <p>【関係機関：市（観光課・企画課）、県、観光協会、事業者、指定管理者】</p>



<p>③観光消費の促進</p>	<p>・すしや知多牛をはじめとする食の観光の推進や、まちめぐりキャンペーン等の回遊性の向上により、消費の促進を図ります。 【関係機関：市（観光課・経済課）、観光協会、商工会議所、事業者】</p>
<p>④広域連携による観光振興</p>	<p>・知多半島観光圏協議会において、知多半島5市5町の強みを結び付け、広域連携のスケールメリットを活かした観光振興により、観光魅力の向上と誘客につなげます。Aichi Sky Expo（愛知県国際展示場）における MICE からの誘客等、インバウンド誘客に取り組みます。 ・必要に応じて、個別の市町との連携を図ります。 【関係機関：市（観光課）、知多半島観光圏協議会】</p>

(2) 受入環境の整備と充実

個別施策	説明
<p>①魅力を創出する景観・空間の形成</p>	<p>・J R 武豊線半田駅を中心とした鉄道高架とJ R 半田駅前土地区画整理等により、駅周辺の商業施設の充実や高架下空間の有効利用、無電柱化を図り、回遊したくなる魅力ある空間を形成します。これにより、名鉄知多半田駅から半田運河までを一体的に利用し、周辺の歴史・文化資源を活かしながら賑わいと活気を創出します。 ・観光客の立ち寄り先となる店舗等の誘致、観光客用駐車場の確保等を推進します。 ・景観形成重点地区の亀崎地区における無電柱化により、観光につながる良好な景観形成を図ります。 【関係機関：市（観光課・経済課・都市計画課・市街地整備課）、観光協会、商工会議所、市民、市民活動団体、事業者】</p>
<p>②多様な観光ニーズへの対応</p>	<p>・多様な観光ニーズに対応するため、体験型観光コンテンツの造成、ユニークベニュー等、来訪者の満足度の向上を図ります。 ・観光案内所の効果的な設置・運営、観光ボランティアガイドの育成、情報媒体の多言語化、Wi-Fi 環境、キャッシュレス環境の推進、観光サインの充実等、来訪者の利便性の向上を図ります。また、MaaS 等による2次交通の利便性向上の可能性を研究していきます。 【関係機関：市（観光課・経済課・博物館・新美南吉記念館）、観光協会、商工会議所、市民活動団体、事業者】</p>



(3) 持続可能な観光の推進

個別施策	説明
① まちへの愛着と誇りの醸成	<ul style="list-style-type: none"> ・観光振興の持続的な推進に向けた、観光の担い手や本市の魅力を伝える人材の育成につなげるため、子どもたちが主体的に地域の歴史、産業、自然、文化等を楽しみながら学べる学校等での出前講座や、市民向けの学習機会の提供を通じて、市民における本市の魅力の理解を促進し、まちへの愛着と誇りの醸成を図ります。 ・まちへの愛着と誇りを持った事業者等が、本市の観光の特色を活かして連携することで、交流人口、関係人口の拡大や観光まちづくりによるまちの活性化を図ります。 ・まちへの愛着と誇りを持った市民や市内の企業等により、本市の魅力を自ら SNS 等を通じて発信する、市民力を活かした PR を推進します。 <p>【関係機関：市（観光課・企画課・学校教育課・生涯学習課・博物館・新美南吉記念館）、観光協会、市民、市民活動団体、事業者】</p>
② 技術の進展や社会の変化への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・技術の進展を背景にデジタル化が加速する中、観光に係る情報収集や予約、移動、滞在など、様々な場面におけるデジタルの活用を適切に推進します。 ・地域の経済・社会、人々の価値観の変化等、観光を取り巻く状況の変化に対し、市民、事業者、県、他市町等、様々な主体との連携により対応します。 ・ウィズコロナの時期においては、感染症の影響による観光に対する価値観やニーズの変化を把握しながら柔軟に対応し、感染拡大防止と観光振興を両立させます。また、アフターコロナの時期の観光振興については、人々の観光に対する意識やニーズがどう変化するかを見極めて対応します。 <p>【関係機関：市（観光課）、観光協会、事業者】</p>

【目標値】

基本成果指標	現状値（令和2年度）	目標値（令和13年度）
観光入込客数※	56万人（令和2年度） 167万人（令和元年度）	201万人
主要観光施設等における観光消費額※	9億円（令和2年度） 12.9億円（令和元年度）	17億円
半田の歴史や文化に関心を持っている市民の割合	49.8%	61%

※観光入込客数…市内の主な観光施設やイベント、祭礼、いちご狩り等の来場者数の合計人数

※主要観光施設等における観光消費額…市内の主な観光施設や飲食店、物販店等の観光消費額（売上額）の合計額